

# 大型トラックのブレーキペダル 戻り不良が頻発

**国交省、注意呼びかけ**

大型トラックのブレーキペダルが戻りつき、ブレーキを引きずる故障が増えていたとして、国土交通省が注意を呼びかけている。エアブレーキ車に多い「オルガンタイプ」のペダル支持部に泥や融雪剤などが付着し、ペダルが戻りにくくなるというもの。最悪の場合、ブレーキが過熱して車両火災に至るケースもあった。国交省は地方運輸局や全日本トラック協会(全ト協)に通達を発出し、日本自動車工業会などに対しても注意喚起を要請した。

国交省は、自動車メーカー各社などから事故や不具合情報の報告を定期的に受けている。最近になってブレーキを引いてする不良の報告が数件

あり、原因を調べたところ、ペダル支持部が床にあるオルガントラックの長期使用車でペダルの戻り不良が頻発していることがわかった。水分や融

雪剤を含んだ泥や砂、雪などによりペダルのシャフト部が錆びていたという。

同様の事案は2011年度に8件、12年度は7件、昨年度は12件あった。中にはブレーキが過熱して火災につながったケースもあった。荷物を積載して走る大型車は低回転で大きなトルクを発生するため、「ブレーキの引きずりに気づきにくい」(自動車局審査・リコール課)という。

このため国交省は、自工会の専門機能を強化した「商用車プロショップ」のテコ入

め、「ブレーキの引きずりに気づきにくい」(自動車局審査・リコール課)とい

# 商用車販売強化へ 「プロシヨップ」テコ入れ 日産

日産自動車は商用車取り扱いの専門機能を強化した「商用車プロショップ」のテコ入

れに乗り出す。今月から同社開始するなど商品力を向上させ、新たに専任者を配置を明確化するなど、の要件を見直すこと強化につなげる。

商用車プロショップ

講。ユーザー団体である全協に對しては審査・リコール課と整備課の連名で①整備管課による該箇所の定期點検

検②キャビン(車室)内に泥や雪が入り込まないようにして上での普段より加速感がないと感じたり、惰性走行時にブレーキがかかったように感

じる時は無理に走り続けないよう運転手を指導することなどを求めた。また地方運輸局などに對しても「整備主任者研修」などの機会を活用し、ブレーキペダルの戻り不良に関する注意喚起を整備事業者に對して行うよう通知した。

泥や砂などが入り込んだペダル支持部  
(写真右下)



発行所  
**日刊自動車新聞社**  
東京都港区芝大門1丁目10番11号  
購読料 1ヵ月5343円+税  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2014

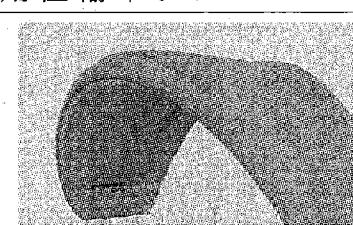
Jidosha  
Next New Nikkan

**10月6日  
(月曜日)**

第10回オールJU  
全国Jリオーカンション会場で  
**開催中!**  
好評  
10月・11月  
全国で募集116名様を  
ベトナム・ホーチミンへご招待  
中越建設  
中越建設

空飛ぶ三輪車

は、パラ  
飛ぶ三輪  
え、公道  
して開拓  
ド・イツ



ド力に自信を示す。  
先月11日に発表した新型アミ

の出資比率を33・4%から約13%に引き下げた。それまでのマ

つた。このため、1年半の間、

用するための苦肉の策